

氷上高校女子バレーボール部 全国大会で日本一を目指します

7月8日、氷上高校女子バレーボール部が全国高等学校総合体育大会（インターハイ）出場を報告するため、林市長を訪問しました。県予選を見事に勝ち抜き、5大会連続40回目のインターハイに出場します。

主将の三宅望天さんは、「このチームは粘り強い守備とつなぎの攻撃が特徴。まず予選を勝ち抜き、日本一を目指します」と意気込みました。



市長に学校で育てている鉢植えのアサガオを贈り健闘を誓う三宅さん

丹波市に生まれてくれてありがとう！ ハッピーバース応援ギフト家庭訪問

令和3年4月1日以後に出産された子育て世代を応援するために、丹波市から市内の特産品やごみ袋などをプレゼントするハッピーバース応援ギフト事業。8月4日、事業開始を記念して林市長が市内の吉森さん宅を訪問しました。

母親の美姫さんは「丹波市の特産品や木のおもちゃなど、たくさんのプレゼントをいただいて嬉しいです」と話しました。



4月生まれの吉森羽汰^{うた}さんと母親にギフトを手渡す林市長

水分れフィールドミュージアム夏期特別展 「魅惑のいもむし・けむし展」開催



捕まえたオオスカシバの幼虫を覗き込む参加者

水分れフィールドミュージアムで8月29日まで、箕面公園昆虫館・伊丹市昆虫館合同の特別展を開催しています。いもむしやけむしの乾燥標本や、水分れ周辺で見つけた生体などの展示やイベントを実施しています。

昆虫採集イベントの参加者は「昆虫館の人に教えてもらった方法で昆虫を探したら、いろんな虫を捕まえることができた。家に帰ってから実践したい」と話しました。

丹波市に約半世紀ぶりに映画館が誕生！ 「エビスシネマ。」が開館しました



左から観光協会柳川会長、青年会議所北野理事長、商工会篠倉会長、林市長、近兼監督によるオープニングセレモニー

7月30日、氷上町成松に映画館「エビスシネマ。」が誕生しました。住民運動で暴力団を追放した実話を基にした映画「銀幕の詩」は、この映画館を舞台に現在も撮影中で、オープニングセレモニーの様子も映画のなかの1シーンに使われる予定です。

映画監督の近兼拓史^{ちかかねたくし}さんは「開館までこれたのは皆さんのお陰です。ここ成松をエンターテインメントの街にしたい」とあいさつしました。

丹波竜化石工房 2021 夏期特別展「剣と鎧の恐竜展」開催

丹波竜化石工房で9月2日まで特別展を開催しています。剣のついた尾をもつステゴサウルス、鎧をまとったアンキロサウルスなど、肉食恐竜に対抗するために武装した植物食の恐竜化石や、ティラノサウルス実物大頭部の動くロボットなどを展示しています。

来館者は「恐竜の骨をかじるリアルな音と同時に動くティラノサウルスのロボットの迫力におどろきました」と興奮した様子で話しました。



実物大の動くロボットにおそるおそる近づく子どもたち

子どもたちと向き合うときの参考に子育て本 30冊を市に寄贈



市長に子育て本を手渡す和久さん

7月13日、氷上町成松の開業医和久晋三さんが、子育て本「子どもの「困った」をなおすママの言葉かけ」30冊を市に寄贈しました。本には子どもの成長に寄り添った「言葉かけ」のアドバイスなどがわかりやすくつづられています。

和久晋三さんは「実例つきで丁寧に説明されていて子育てには最高の一冊だと思います。保育施設の関係者が小さな子どもたちと向き合うときの参考になれば」と話しました。



上：理想の田舎暮らしのために最近飼いだめた鶏。牧さんのことが大好きで取材中も離れることはありませんでした。

下：畑の手入れをする牧さん

農の学校 通信

【卒業生の就農状況 編】

農の学校1期生の牧秀矢^{ひでや}さんは、昨年3月の卒業後、春日地域で就農しました。「稼ぐ農業というよりも、楽しむ農業を」と在学中から考えていた牧さん。農の学校で学んだ有機農法で20種類を超える野菜を栽培し、採れた野菜は友人や親族に配ることを楽しみに、農業のある田舎暮らしを実践しています。

農の学校で学んだ土作りをはじめとする、ひと通りの農作業の経験が生きていると話す牧さん。卒業後も、それぞれに就農している学校で出会った仲間同士のつながりは深く、お互いの農地に出向き、手伝いや情報交換をしています。

牧さんは「当初は家庭菜園のつもりで考えていたが、近隣の先輩農家さんの協力や助言もあり、どんどん農地が広がった。今後は小豆や黒豆、綿など、丹波の土地や風土に合うものを探しながら作ってみたい」と語ってくれました。